

平成17年度試験研究成果書

区分	研究	題名	ヤマブドウにおける人工授粉が結実に与える影響		
〔要約〕 ヤマブドウ（雄株）花粉およびぶどう台木グローアル・ド・モンペリエの花粉をヤマブドウに人工授粉すると、両者ともに同等の結実向上効果が得られる。					
キーワード	ヤマブドウ	グローアル・ド・モンペリエ			園芸畑作部 果樹研究室

1 背景とねらい

ヤマブドウは雌雄異株であるため、結実には雄株を混植する必要がある。しかし、開花期の低温や天候不順で授粉が阻害されることがある。また、強樹勢による花振るいを起こしやすく、安定した栽培を行うためには結実の安定が課題である。このため、人工授粉による結実安定法について検討した。

2 成果の内容

- (1) グローアル・ド・モンペリエ花粉の人工授粉により、ヤマブドウ(雄株)花粉と同等の結実安定効果が得られる。ヤマブドウ(雄株)花粉を授粉した果実と比べ果実品質に差はない(表1、表2)。
- (2) グローアル・ド・モンペリエの開花期とヤマブドウの開花期はほぼ一致する(表3)。

3 成果活用上の留意事項

- (1) ヤマブドウ石田山系統(大野村)を供試しての試験結果である。
- (2) グローアル・ド・モンペリエは、ぶどうのわい化度の強い台木で、授粉樹として利用した場合コンパクトな樹形管理が可能と思われる。

4 成果の活用方法等

期待する活用効果 ヤマブドウの結実安定に関する研究の基礎知見となる。

5 当該事項に係る試験研究課題

(708) 山ぶどうの結実安定技術の確立(平成13～17年、県単)

6 参考文献・資料

平成13～16年度 岩手県農業研究センター 果樹試験成績書(一部未定稿)

7 試験成績の概要（具体的なデータ）

表1 自然授粉条件下における人工授粉処理果の果実品質（2005年）

試験区	房重 (g)	果房長 (cm)	平均粒重 (g)	含核数 (ヶ)	糖度 (Brix%)	酸度 (g/100ml)
無処理	56.4	13.0	1.1	2.8	16.2	2.70
ヤマブドウ花粉授粉	74.8	13.2	1.0	2.4	16.1	2.63
GM花粉授粉	97.4	13.9	1.0	2.6	15.4	2.60

試験区の内容：雄樹を30%混植した圃場において、自然授粉条件下で人工授粉を実施
 無処理
 ヤマブドウ(雄株)の花粉を梵天で授粉
 グロアール・モンペリエ(GM)の花粉を梵天で授粉
 人工授粉日：6月7日

表2 隔離条件下における人工授粉処理果の果実品質（2003年）

試験区	房重 (g)	平均粒重 (g)	含核数 (ヶ)	糖度 (Brix%)	酸度 (g/100ml)
無処理			非結実		
ヤマブドウ花粉授粉	101.0	1.4	3.6	17.3	2.48
GM花粉授粉	102.0	1.4	3.8	16.6	2.52

試験区の内容：各果房とも自然授粉から隔離した条件で人工授粉を実施
 無処理
 ヤマブドウ(雄株)の花粉を満開期に梵天で授粉
 グロアール・モンペリエ(GM)の花粉を満開期に梵天で授粉

表3 ヤマブドウおよびグロアール・ド・モンペリエの生態（2005年 北上市）

樹種	発芽	開花始	満開期	落花期
雌樹	4/27	6/4	6/9	6/12
雄樹	4/27	6/4	6/9	6/12
グロアール・モンペリエ	-	6/5	6/8	6/12



無処理



ヤマブドウ(雄株)花粉を人工授粉

図1 自然授粉条件下における人工授粉処理果（2005年）



グロアール・モンペリエ花粉を人工授粉